

A	B	C	D	
1	＜様式11-1＞			
2	令和4（2022）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書	
3	松ヶ崎児童館			
4	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題	
5				
6		出欠確認・子どもたちの行動状況の把握	出欠を確認し、連絡なしに欠席した児童の保護者に確認をとる、登館時間の遅い児童に事情をきくなどすることで、児童の行動や安全を把握することができた。また、連絡帳入れのカゴ、帰りの会を行う場所をクラス別にすることで、子ども達にクラスを意識付けることができた。来年度からはうえぶさくらに移行。	
7		学校への1年生のお迎え	登館経路の確認や交通安全の指導をするとともに、会話を通して子どもたちの様子を知ることができた。	
8	安全・衛生の確保	学校からの集団登館指導	1年生に関しては、登館時友達とトラブルになることも多かったが、学校の協力もあり、年度末によりやく落ち着いた登館出来るようになってきた。2年生以上はクラスで終業時間の違いがあるため、クラスごとにまとめて登館するよう指導している。	
9		集団下館・交通安全指導	年度始めには、職員が付き添い、それぞれのコースの子どもたちに経路・交通ルールの指導をすることや、各児童の住んでいる場所や位置関係、雰囲気を知ることができた。また、方面ごとに集団下館をすることで、家の近くまで複数で帰ることができた。しかし、慣れるにつれて、児童館を出てすぐにばらばらになってしまったり、寄り道をしているとの報告も受けた。また、保護者から、帰ってこないとの連絡や他の児童の家に行っていることが数件あった。下館については、全体や個別に話をしたが、今後も注意深くみていく必要がある。地域に新しく橋ができたため、集団帰り時に職員が送っていくようにする。	
10	生活 援 助 機 能	手洗い・うがい・手指消毒指導	おやつ前の手洗い・手指消毒は実施できている。それ以外の場面でのうがいや手洗いは習慣づいておらず、今後も声掛け等の指導を行う必要がある。	
11		あそびのルールや後片付けの徹底	年度始めはきちんとルールを守り、遊んでいたが、慣れてきた頃になるとルールを忘れてしまったり、守れなくなったりする姿もあった。お迎えに来られてもすぐに用意が出来ない児童がいた為、5時以降の過ごし方についても再度職員間でルールを確認し、子ども達に伝えると共に、声掛けも徹底した。片付けについては、遊びによっては5分早く声掛けをする等、早目の対応をすることで目立って気になる点は無かった。ルールについては子ども達にわかりやすいように掲示し、視覚的にルールを意識できるようにした。	
12		あいさつの励行	1年生に関しては、自らあいさつしてくれる姿が多かったが、2・3年生に関してはあいさつする姿が少なかった。今後も、自主的にあいさつができるようにこちらからのあいさつを繰り返していく必要がある。	
13			連絡帳提出のよびかけ	年間を通して、子ども達の意識は高かったように思う。しかし、休み明けなどに忘れる子がいた。来年度からはうえぶさくらに移行。
14			おやつを提供	苦手なものについても少しでも食べられるよう促すことで、克服できた子どももいた。また、マナーや行儀について、指導する機会となった。歯列矯正の子への配慮としても必要に応じておやつを交換した。コロナ対策として、人数制限を行い、食べるおやつも1つに減らし、もう1つは持って帰るようにする。
15		学習時間	学校休業中（夏・冬・春休み）は毎日45分設定し、クラスに分かれて座り学習に取り組んだ。決められた時間内に集中して取り組むことができ、遊びの時間とのメリハリをつけることができた。	
16	基本的な生活習慣の確立	アレルギー対策	アレルギー表を作成し、誰が何のアレルギーを持っているかを管理・把握し、必要に応じておやつを交換した。重度の子に対しては保護者と相談の上、食器の取り扱いや周りの子どもたちへの声かけなども注意して行った。エビペン持参のため取り扱いや保管についても全職員で共有した。	
17	社会生活技術の獲得	草引き	館内の整備（安全・衛生の確保）を目的に実施。コロナ感染防止対策のため、春と秋の開催。また、それぞれ3部に分けて密を避ける対策を行う。	
18		3年生会議	毎月の目標を月始めに考え、目標達成に向け帰りの会等で成果を聞いた。お別れ遠足に向けて話し合いを行う。お別れ遠足ではしおりを作成し、自分たちで楽しもうという気持ちのもと、子どもたちも自主的な動きがみられた。	
19		入会式	コロナウイルス感染拡大防止の為、2部に分け分散して会を進行する。3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。	
20	生活体験の拡大	クラス行事	クラスの交流を目的に、月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行うことができた。	
21		ブロックまつりステージ練習	左京・東山児童館学童保育所まつりのステージ発表のため「キック&スライド」のダンスとカップスを練習する。目標があることで積極的に練習する児童が多かった。	

	A	B	C	D
22	子ども育成機能		お誕生日会	今年度は班ごとに司会・みんな遊びを進行してもらい、プレゼントを渡すだけでなく、誕生月の子にインタビューをし、「行事」として子どもたちが楽しめるようにしている。誕生月の子に「誕生日の日と年齢」及び「これから頑張りたいこと」などみんなの前で話してもらうことで今後の抱負や自分自身の誕生を確認する機会にもなっている。人前に出ることが苦手な子どもも頑張って話している姿もあり、良い経験となっている。回数を重ねるごとにみんなで盛り上げようという意識が出てきた。また、今年度はコロナ対策として、クラスごとに実施し、人数を分散させた。
23			代休日おでかけ	代休日を利用して子どもの楽園へおでかけ。「普段遊べない遊具がたくさんあり、それぞれグループを作りながら楽しそうに遊んでいた。水分補給も各自で行い、集合時間についても声を掛け合っている姿もあり、子ども達同士で上手く時間を過ごすことが出来ていた。また、他の人に譲ったり、待っている人がいたら早めに切り上げる等の姿も見られ、公共のルールを学ぶこともできた。
24		社会性の養成	ランチDAY	長期休業中に取り組むことで、毎日の生活に変化を持たすことができ、子どもたちの仲間意識の構築にもつながった。また、保護者からはお弁当づくりの負担軽減になり、助かっているとの声が多くあり、好評である為、回数については今後検討する必要がある。コロナ対策のため、調理は行わなかった。
25			カップスクラブ体験デー	子ども達の遊びの拡充と、発表の機会を増やす目的で実施。初回は体験デーとして、多くの児童にカップスを体験してもらうことが出来た。
26			カップスクラブ	みんなであそぼうDAYでの発表を目標に、カップスを月一回練習する。発表に向けての練習を通して自主性や集団としてのまとまりができた。
27			カロム大会	児童館事業として実施予定だったが、コロナの蔓延に伴い、不特定多数の参加ができなかったため、学童行事に変更して実施。子どもたちの普段から人気の遊びということもあり、参加者は多くいた。
28			学童クリスマス会	帰りの会時に保護者会の方に協力いただき、サンタさんの格好をして登場していただく。その後、保護者会の方が進行し、みんな遊びをしたり、プレゼントを渡してもらう。
29			ドッジボール交流試合	今年度は3ブロックでのドッジボール大会には参加しなかったが、近隣の児童館と練習試合のみ行う。子ども達は普段の遊びの成果を披露する場が出来た。
30		自立の促進と自主性の尊重	3年生お別れ遠足	3年生の修了の記念に、学童クラブ児童で「MKボウリング」へ出かける。コロナ対策のため移動時、消毒などコロナウイルス感染拡大防止の徹底を図る。
31			修了式	学童での生活のけじめとなる行事であるため、子どもたちにもけじめをつけるという意識が持てるよう練習を行い、全体の雰囲気を作っていく必要がある。
32	子育て支援機能		個人懇談	今年度は、新規入会者と希望世帯を対象にしたことで、各児童の様子を保護者と共有することができ、保護者とともに子どもを支援する体制づくりにつながった。
33			介助者会議	児童館側からは、障害のある児童の特性、また館の方針等を伝え、介助者の方からは、悩みや思いを聞くことができた。今後必要に応じて開催し、館と介助者及び介助者同士の関係作りの機会としていきたい。児童の様子や対応について共有することができた。
34		子育てに必要な情報の提供	学童クリスマス会実行委員会	学童クラブ行事のクリスマス会の内容、プレゼントの内容などを保護者とともに実行委員会を設けて、話し合いを行う。保護者会との連携により普段の様子の共有なども図ることが出来た。
35		と交換	修了記念・入会祝い実行委員会	次年度の児童に向けたプレゼントの内容などを保護者とともに実行委員会を設けて、話し合いを行う。保護者会との連携により普段の様子の共有なども図ることが出来た。
36			入会説明会	学童クラブについて、直接保護者の顔を見ながら説明し、理解してもらうことができた。また、入会前に保護者同士、保護者と職員が顔を合わせの良い機会となった。
37			うえぶさくら説明会	うえぶさくらシステム導入に向けて保護者に使用方法を説明する。対面で行うことで質疑応答にも答え、新年度のスムーズなシステム導入を図る。
38			保護者懇談会	職員と保護者、保護者同士が顔を合わせる機会、子どもたちの様子を共有する機会となった。3部に分かれて実施。懇談会后、保護者会の役割に分かれ顔合わせを行う。
39			子育ての仲間づくり	
40				
41				
42				
43		子育てを支えるネットワーク		
44		形成		
45				
46				
47				

令和4(2022)年度学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

松ヶ崎児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童					登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生				大人	
生活援助機能																
子ども育成機能																
草引き	2											13	12	25	館内の整備(安全・衛生の確保)を目的に実施。コロナ感染防止対策のため、春と秋の開催。また、それぞれ3部に分けて密を避ける対策を行う。	
カップスクラブ体験デー	1		3		1									4	子ども達の遊びの拡充と、発表の機会を増やす目的で実施。初回は体験デーとして、多くの児童にカップスを知る機会にする。	
3年生会議	14			55										55	行事・取組についての話し合いやリーダーの決定。毎月目標を話し合い、実施する。修了記念の「お別れ遠足」に向け、行き先・内容の決定、しおりづくりなど3年生が主体となって取り組む。	
入会式	1	20		8										28	コロナウイルス感染拡大防止の為、2部に分け分散して会を進行する。3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。	
クラス行事	11	77	118	27	33									255	クラスの交流を目的に、月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行う。	
ブロックまつりステージ練習	23		115	15	16									146	左京・東山児童館学童保育所まつりのステージ発表のため「キック&スライド」のダンスとカップスを練習する。	
お誕生日会	19	187	235	62	58	1								543	誕生日の月の子がインタビューをうけ、全員の前で発表する。また、職員からメッセージカードと、プレゼントを渡す。コロナ対策としてクラスごとに実施。	
代休日おでかけ	1	14	15	3	5									37	代休日を利用して子どもの楽園へおでかけ。普段遊べない遊具がたくさんあり、それぞれグループを作りながら楽しそうに遊んでいた。	
ランチDAY	3	34	55	15	28	3								135	長期休業中に実施。昼食を職員が注文し、みんなで同じメニューを食べて楽しむ。	
カップスクラブ	8		36	6										42	みんなであそぼうDAYでの発表を目標に、カップスを月一回練習する。	
カロム大会	10	8	5	2	5									20	児童館事業として実施予定だったが、コロナの蔓延に伴い、不特定多数の参加ができなかったため、学童行事に変更して実施。	
学童クリスマス会	1	15	18	9	4			2						7	帰りの会時に保護者会の方に協力いただき、サンタさんの格好をして登場していただく。その後保護者会のかたよりプレゼントをいただく。	
ドッジボール交流試合	1	11	13	6	5									35	今年度は3ブロックでのドッジボール大会には参加しなかったが、近隣の児童館と練習試合のみ行う。	
3年生お別れ遠足	1			2										4	3年生の修了の記念に、学童クラブ児童で「MKボウリング」へ出かける。	
修了式	1	13	16	5	2									36	修了生とその保護者で、3年生以上の修了生を祝い、成長を確認する。式の内容は、修了証書授与、来賓祝辞、お別れのことは、おくることば等。	
子育て支援機能																
個人懇談	24													71	年に2回(春・冬)、2週間程度懇談期間を設定し、新入会と希望世帯対象に20分程度行う。	
介助者会議	1													3	登録・活動している介助者と児童の様子について情報共有を行う。館からは、児童の特性、保護者の思い、館の方針等を伝え、介助者からは、悩みや質問等をきく。	
学童クリスマス会実行委員会	3													19	学童クラブ行事のクリスマス会の内容、プレゼントの内容などを保護者とともに実行委員会を設けて、話し合いを行う。	
修了記念・入会祝い実行委員会	1													6	次年度の児童に向けたプレゼントの内容などを保護者とともに実行委員会を設けて、話し合いを行う。	
入会説明会	1													18	新年度入会の保護者を対象に、学童クラブ及び児童館についての説明や集団下館のルートの確認等を行う。40分程度。欠席者には別の日に来てもらい、必ず全保護者に説明を行う。	
うえぶさくら説明会	4	1	2	1										35	うえぶさくらシステム導入に向けて保護者に使用方法を説明する。	
保護者懇談会	1													42	職員と保護者、保護者同士が顔を合わせる機会、子どもたちの様子を共有する機会となった。3部に分かれて実施。懇談会後、保護者会の役割に分かれ顔合わせを行う。	

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること